

様式 5

平成 29 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 12 月 27 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・学生

申 請 者 名 林 宏至朗

助成事業の区分 (該当するものに印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・ 学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事 業 名	日本陸水学会第 82 回大会
事業実施期間	平成 29 年 9 月 28 日 ~ 平成 29 年 10 月 1 日
成 果 の 概 要	平成 29 年 9 月 28 日 ~ 平成 29 年 9 月 30 日に秋田県仙北市田沢湖高原温泉郷駒ヶ岳グランドホテルにて開催された日本陸水学会第 82 回大会に参加し、「北日本における止水性ヒメシロカゲロウ属(カゲロウ目:ヒメシロカゲロウ科)の遺伝的多様性」とのタイトルで口頭発表を行った。また、本大会で実施された課題講演、「森里海の連携」、「陸水環境における放射性物質の挙動-原発事故後 6 年間を振り返って-」、「流域ガバナンス:陸水学が果たす学術的貢献と社会的役割」、環境 DNA に関する自由集会(分析方法の解説と採水調査の実践)、陸水学ライトニングトーク、生物系の一般口演、ポスターセッションなどに参加し、林の研究内容と関連する分野の最新の知見を得た。また、最終日(10 月 1 日)にはエクスカージョンに参加し、田沢湖やクニマスの関連施設を見学し、仙北市立生保内小学校体育館にて開催された公開講演会「田沢湖の現状と将来への取り組み」にも参加した。